

# おたより

# 議会だより

第 122 号

令和 3 年 4 月 発行

発行 小 谷 村 議 会

編集 議会だより編集委員会

長野県北安曇郡小谷村 〒399-9494

TEL 0261-82-2001

FAX 0261-82-2232

印刷 株式会社プラルト



## 34の瞳、皆に見守られ、希望の旅立ち

令和 3 年度予算を可決……………②～③

補正予算・報告事案・請願・陳情の審査……………④～⑤

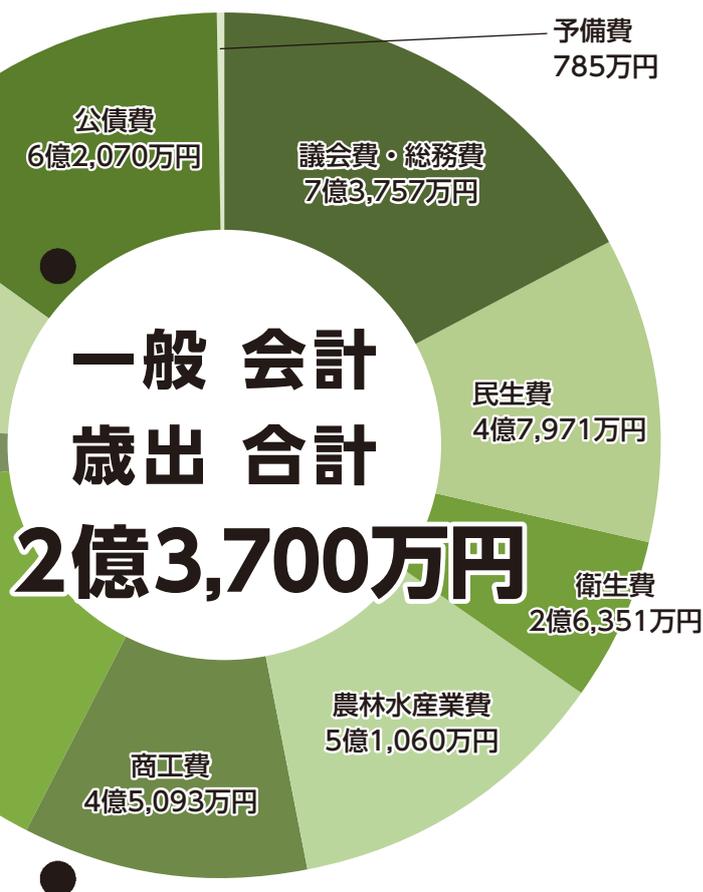
村政を問う・一般質問……………⑥～⑮

わたしのひとこと (石川ひかりさん・大学生さん) ……………⑯

# 度一般会計予算 42億3,700万円

3月定例会 3月4日～17日まで開かれ、議案34件、報告3件、発議3件、陳情9件を審議し、すべて可決した。

## 予算ピックアップ



### 総務課

- 庁舎屋根防水改修工事(委託料含) 2,775万円
- エレベーター改修工事 1,034万円
- ★ふるさと応援寄付金事業 2億0,015万円
- CATVインターネット更新工事 5,500万円
- 広域常備消防負担金事業 7,314万円

### 住民福祉課

- 繰出金事業  
(国保、診療所、後期高齢者特別会計) 5,157万円
- 新型コロナウイルス感染症予防事業 2,198万円

### 観光地域振興課(観光商工係)

- 公共交通事業用委託料 9,320万円
- 観光連盟負担金・補助金 5,856万円
- 白馬大池山荘無線Wi-Fi工事 3,329万円
- 緊急観光対策事業 3,630万円
- ★天飾荘ボイラーエアコン工事 3,090万円
- ★北小谷源泉貯湯施設工事 1,632万円

### 観光地域振興課(農林係)

- 白乗農道舗装水路改修工事 2,000万円
- サンテインおたりバイオマスボイラー 4,500万円
- 石坂探検村トイレ工事 2,200万円
- 林道姫川妙高・大池線工事 3,600万円
- 農集排事業特会繰出金 6,782万円

### 観光地域振興課(集落支援係)

- 集落支援事業 3,304万円
- 移住促進事業 1,891万円
- ★拠点施設運営事業 6,643万円

## 予算特別委員会での質疑

問：公債比率が上がった理由は何か。

答：ごみ処理施設分。

問：公共交通のスリム化を考えているのか。

答：各路線客のデータを取り、ダイヤの検討をしたい。

問：子育て支援センターの拠点は決まったか。

答：役場203号室に移動予定。

問：サンテのバイオマスボイラーはどのようなものか。

答：オーストリア製(燃料チップ)、日本製(燃料まき)で検討中。

問：関係人口創出事業委託料払っているが企業努力ですべき。

答：10年後、20年後を見ている。軌道に乗れば減額する。

議案14号

# 令和3年度予算を 全員賛成で可決

# 令和3年

## 令和2年度追加補正予算

- 緊急観光対策事業  
7,000万円
- 定住促進事業補助金  
105万円
- 予防接種事業補助金 (PCR検査)  
100万円



令和3年2月22日の議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の申し入れを受け、3月定例会において上欄追加補正予算が上程、議決された。

※ ★印のついている事業は、ふるさと応援寄付金を財源充当している事業です。

## 建設水道課

- 川内橋・高橋橋梁修繕工事 9,470万円
- 村道母池若栗線元廻道路改良工事  
6,000万円
- 生活関連緊急整備道路補修等工事  
3,700万円
- 高橋・川内橋・大網橋補修工事 9,470万円
- 道路除雪事業 2億3,435万円
- 公共下水道事業会計繰出金 8,211万円

## 教育委員会

- ★ 総合型地域スポーツクラブ運営補助金  
410万円
- ★ 指導・大会等委託 1,097万円
- ★ 白馬高校支援事業 2,984万円
- ★ 中学生海外交流事業 (台湾・中国)  
823万円
- 子育て支援センター運営事業 415万円

## 新規・拡充



## (全員賛成で可決) 特別会計予算 4億7,000万円

議案番号	区分	3年度当初予算額
15	国民健康保険特別会計	3億3,500万円
16	国民健康保険診療施設特別会計	9,610万円
17	後期高齢者医療特別会計	3,890万円

## (全員賛成で可決) 地方公営企業会計予算(会計上、収支に相違あり)

議案番号	区分	収益的収入支出予算		資本的収入支出予算	
		収入	支出	収入	支出
18	簡易水道事業会計	1億7,588万円	1億7,208万円	7,403万円	9,157万円
19	下水道事業会計	2億3,116万円	2億2,999万円	1億0,095万円	1億0,093万円

## 複合拠点施設運営費について

問：単純に今年（新年度）村が1億円負担し、来年度以降は（村が）6,500万円負担という事か。

答：本年度については、準備等の費用が含まれるので総額で1億700万円程掛かる。来年度以降は準備の部分がなくなるので6,500万円まで下がる見込み。

意見①：毎年6,500万円の負担は余りに大きい。当初計画ともかなり違う。7月開設予定という事であれば運営費についてはいったん取り下げ、再度検討して計上すべき。

意見②：村民にも広く説明し、理解を得るべき。  
◎運営費については削除訂正され、一般会計当初予算は全員賛成で可決された。

## ◇ 専決処分報告（報）

全員賛成で承認

件名	内容
令和2年度小谷村一般会計補正予算（第12号）	総額変更なし
令和2年度小谷村一般会計補正予算（第13号）	7,600万円追加 総額57億5,600万円
工事変更請負契約の締結について（小谷村複合拠点施設建設工事）	2,658万7,000千円増額、（共通仮設費、電気設備、機械設備）

## ◇ 村長提出議案（議案）

全員賛成で可決

件名	内容
令和2年度小谷村一般会計補正予算（第14号）	6,400万円減額 総額56億9,200万円
令和2年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	760万円減額 総額3億5,130万円
令和2年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第4号）	240万円減額 総額9,740万円
令和2年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第3号）	収入総額 2億4,840万6,000円 支出総額 2億7,072万4,000円
令和2年度小谷村下水道事業会計補正予算（第3号）	収入総額 3億4,471万5,000円 支出総額 3億4,475万4,000円
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	法改正に伴う改正
小谷村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症対策作業に伴う改正
小谷村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	費用弁償の支給等
小谷村課設置条例等の一部を改正する条例について	観光地域振興課新設、観光振興課・特産推進室廃止、集落支援係・健康推進係新設
小谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症対策関連法改正に伴う改正
小谷村移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定について	新規事業に伴う制定
小谷村認定こども園設置条例の制定について	保育園の認定こども園への移行
小谷村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	就学指導委員会を就学相談委員会に名称変更学校医薬剤師報酬5万円を7万円に増額
令和3年度小谷村一般会計予算	42億3,700万円
令和3年度小谷村国民健康保険特別会計予算	3億3,500万円
令和3年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計予算	9,610万円
令和3年度小谷村後期高齢者医療特別会計予算	3,890万円
令和3年度小谷村簡易水道事業会計予算	収入総額 2億4,991万1,000円 支出総額 2億6,364万8,000円
令和3年度小谷村下水道事業会計予算	収入総額 3億3,210万7,000円 支出総額 3億3,091万7,000円
雨飾高原キャンプ場の指定管理者の指定について	(株)おたり振興公社 代表取締役 幾田美彦
鎌池地域産物販売施設の指定管理者の指定について	(株)山田旅館 代表取締役 山田誠司
おたり名産館の指定管理者の指定について	猟山人 代表 岡澤照男
小谷村石坂探検村施設の指定管理者の指定について	おたり自然学校 代表 大日方冬樹

件名	内容
小谷村森林体験交流施設の指定管理者の指定について	深山遊園北野の郷 会長 小林規朗
特産品開発センター及び小谷地区活性化施設の指定管理者の指定について	大北農業協同組合 代表理事組合長 武井宏文
土倉農山村体験交流施設の指定管理者の指定について	おたり自然学校 代表 大日方冬樹
小谷村営社会体育館の指定管理者の指定について	樽池地区会 会長 栗田明彦
池の田グリーンスポーツの指定管理者の指定について	池の田林野組合 組合長 相澤修雄
白馬山麓事務組合規約の変更について	焼却施設廃止に伴う変更
小谷村農業委員会委員の任命について	任期満了に伴う任命 12名
小谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症対策関連法改正に伴う改正
令和2年度小谷村一般会計補正予算（第15号）	7,500万円追加 総額57億6,700万円
副村長の選任について	上川喜一（川上） 昭和36年9月11日生
教育委員会教育長の任命について	関 芳明（池原） 昭和36年9月24日生

※指定管理者の期間は全て令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

### ◇ 請願・陳情（請）

番号 付託委員会	件名	提出者	審議結果
1 総務委員会	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会	採 択 (全員賛成)
2 総務委員会	児童生徒の通学路の安全確保についての陳情書	小谷小学校PTA会長 細澤恵一 小谷中学校PTA会長 竹田俊幸	採 択 (全員賛成)
3 経済委員会	新型コロナウイルス感染拡大に伴う追加経営支援のお願い（陳情）	奥白馬高原開発株式会社 代表取締役 花岡一登	趣旨採択 (全員賛成)
4 総務委員会	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める意見書提出の陳情	大北生活と健康を守る会 会長 松島吉子	採 択 (全員賛成)
5 経済委員会	三観光協会運営費補助に関する要望書	村内3観光協会	趣旨採択 (全員賛成)
6 総務委員会	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	長野県労働組合連合会 議長 細尾俊彦	継続審議 (賛成多数)
7 経済委員会	姫川温泉、湯源電力復旧要望書	石橋 勲、村田政夫	採 択 (全員賛成)
8 経済委員会	直営除雪オペレーター業務に関する要望書	小谷村直営除雪有志の会 代表 宮嶋克明	趣旨採択 (全員賛成)
9 経済委員会	小谷村3スキー学校への助成の要望	小谷3スキー学校連絡協議会	趣旨採択 (全員賛成)

### ◇ 議員発議（発議）

議案はすべて可決（全員賛成）

番号	件名
1	予算特別委員会の設置について
2	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書（案）について
3	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める意見書（案）について
4	新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少している個人事業主の固定資産に係る軽減措置の対象者拡大を求める意見書（案）について

# 村政を問う

令和3年3月定例会一般質問

質問通告書 締切3月1日

一般質問は、定例議会において1時間の制限で執行機関に疑問点や所信を問います。今回は議長を除く全議員が2日に分け実施し、議場の傍聴者は1日目13名、2日目10名でした。

〈質問項目〉【順番は質問通告書提出順で、質問議員各自でページ作成をしています。】

11日（木） 午前10時～12時・午後1時～3時

- |         |    |                               |                  |        |
|---------|----|-------------------------------|------------------|--------|
| 1、横澤かつ子 | 議員 | ① 新年度予算編成                     | ② 障がい者福祉の充実      | (7 P)  |
| 2、曾根原恵子 | 議員 | ① コロナ禍の高齢者も現役世代も安心できる福祉の再建    |                  | (8 P)  |
|         |    | ② 地域資源を生かした持続的な観光へ            |                  |        |
| 3、深澤 英喜 | 議員 | ① チームラボ★学ぶ！未来の遊園地in小谷村。開催について |                  | (9 P)  |
| 4、吉澤 学  | 議員 | ① コロナウイルス対策                   | ② チームラボ未来の遊園地    | (10 P) |
|         |    | ③ 山菜加工場                       | ④ 安心居住施設         |        |
|         |    | ⑤ 母子、父子家庭への援助                 | ⑥ 今後は今までと世の中が変わる |        |
| 5、宮澤 正廣 | 議員 | ① 複合拠点施設の現状と今後の課題は            |                  | (11 P) |
| 6、吉岡 久人 | 議員 | ① 新型コロナワクチン接種                 | ② 村民リフレッシュ事業     | (12 P) |

12日（金） 午前10時～11時50分・午後1時～1時55分

- |         |    |                                 |                  |        |
|---------|----|---------------------------------|------------------|--------|
| 7、藤原 賢司 | 議員 | ① 過疎債と財政計画                      | ② 環境基本計画         | (13 P) |
|         |    | ③ 小谷村に適した観光について                 |                  |        |
| 8、猪股 充拡 | 議員 | ① 観光地域づくりの地域プラットフォーム・理事会・分科会は   |                  | (14 P) |
|         |    | ② 第6次総合計画策定の進捗状況について            |                  |        |
| 9、太田 武彦 | 議員 | ① お祭りを活用した村づくり                  | ② 集落支援員を活用した村づくり | (15 P) |
|         |    | ③ 新型コロナウイルス収束への見通しが立った時点での観光振興策 |                  |        |

## 「検討する」の回答はどうなったか？

【質問に「検討する」とした回答は、1年間検討後に村長より再回答されます。】(抜粋)

〈質問(令和2年3月)〉

〈再 回 答〉

- 登山案内人育成としての中学  
集団登山は…………… ◆ 医師会から医師派遣に協力できないとの回答で、村内の山で泊を伴わない日帰り登山。2年度は雨飾山日帰り登山とキャンプ1泊の組み合わせで実施。
- 除雪補助金事業は…………… ◆ 第6次総合計画策定での住民アンケート「満足している事業」の回答で、28 選択項目中、「道路除雪」関係が1 番でした。審議委員からの意見として近年、オペレーターの高齢化や新たな人材確保困難から大型特殊や車両系建設機械作業免許取得の補助と人材育成確保に向けた活用を引き続き検討したい。
- 少雪と新型コロナ感染症の影響事業者の支援は…………… ◆ 昨年3月13日～23日実施した観光連盟のアンケートで70の回答を参考に緊急観光対策補助金等として、予算ベースで総額9億9千万円余。財源内訳として、国庫補助5億2,000万円、県費補助2,900万円、特定財源4,500万円、単独財源3億9,600万円となっている。

# 新年度予算編成について



横澤かつ子 議員

**問** 新年度予算の基本方針について伺う。

**答** 村長 審議中の第6次総合計画と総合戦略を基本方針とする。基本

目標は、

- ・活力ある持続可能な村
  - ・健康で生き生き暮らせる
  - ・自然の恵みを力に変える
  - ・未来につなげる人と文化
- 目指すべき姿として「人口とコミュニティの維持」を目標にこれを実現するための予算編成を基本方針とする。

**問** 事業計画及び主要施策を伺う。

**答** 村長 新規事業の主な内容となる内容は

- ・防災資機材倉庫設置 2,803千円
- ・空き家等活用対策 9,538千円
- ・コロナワクチン接種 21,982千円
- ・親の原ため池耐震調査 5,000千円
- ・チップボイラー設置 45,000千円
- ・石坂探検村トイレ設置 22,000千円
- ・複合拠点施設運営 18,384千円
- ・移住促進住宅整備 3,883千円
- ・陸上競技場等調査 2,200千円
- ・白馬大池山荘無線整備 33,289千円
- ・観光連盟会費助成等 31,300千円
- ・雨飾荘ボイラー改修 30,900千円
- ・北小谷温泉貯湯槽新設 16,324千円
- ・元廻道路改良 60,000千円
- ・橋梁補修川内・高橋外 94,700千円
- ・中学校多目的ホール改修 7,300千円
- ・継続事業としては 危険廃屋解体撤去 5,000千円
- ・関係人口創出事業 16,085千円
- ・複合拠点施設整備 48,050千円
- ・観光地域づくり事業プラットフォームの運営 5,687千円
- ・白馬高校支援 29,835千円

は12億4千9百18万2千円  
教育委員会は3億8千4百75万1千円

## 障がい者福祉の充実

**問** 障がい者福祉のニーズが多様化している。

障がいのある人が社会活動に主体的に参加できるよう自己実現の支援と社会的障壁、日常生活および社会生活を営む上で障壁となる、事物、制度、慣行、概念の除去が強く求められている。

白馬小谷地区で要望している障がい者グループホームの設立について村の考えは。

**答** 村長 大北管内に施設がなく必要な施設と考えている。大町市の事業者に設立していただけることになり、県の補助金を申請しているところだ。今年度は不採択になった。北部地区の状況からして引き

建設水道・土木・2会計

続き県に働きかけていく。

**問** 障がい児福祉において村の現状と見通しについて伺う。

**答** 村長 保育園と村保健師による連携で児童発達支援等が必要なお子さんの早期発見に努めている。保険事業や保育園生活を通じてお子さんの情報を共有して、支援が必要であれば専門の支援員が介入するようにしている。日常生活を円滑に過ごせるように、症状の緩和や訓練により卒園等とともに支援が終了となるケースもある。

今後も子育て世代包括支援センターを中心に情報を共有して、連携しながら支援に努める。



# 高齢者も現役世代も 安心の福祉再建を



曾根原恵子 議員

## コロナ定期検査実施を

**問** 感染対策の基本は検査だ。一定の減少がみられる今だからこそ、介護現場を優先的に。

**答** 村長 PCR検査は症状がない平常時に必要はないが、感染拡大の状況に応じて検査することは防止につながる。

**問** 感染拡大が起こつてからでは遅い。現場の日々の緊張感と不安の声を聴くべきだ。

**答** 村長 集団感染抑制のため、自主検査への補助等を検討している。

## 村の福祉事業計画策定を

**問** 「地域包括ケアシステム」とは。

**答** 村長 介護予防教室、交通手段や雪の

課題対応など生活支援、認知症対応での「クローバーの会」「ほっこりカフェ」開催、在宅医療・介護連携の「地域ケア会議」では個別の情報共有などの取り組みをしている。それぞれ支援員の配置で推進強化を図る。

**問** 障がい者支援の窓口一本化が必要では。

**答** 村長 サービスの窓口は、専門支援員、施設、本人の相談しやすい場所とし、個々の情報は支援会議を通じ共有できる体制をとっている。

**問** 「子育て支援センター」移設と今後の

方針は。

**答** 教育長 この4月から小谷村役場203会議室に拠点を移す。

**問** 環境・設備面で問題があるのでは。利用者・スタッフの意見を聞き

施設利用の検討を。

**答** 教育長 子育て相談業務が保健センター

にあり「子育て世代包括支援」機能が充実強化される。役場内への移設により、保健師・助産婦・栄養士・



子育て支援センター活動

教育委員会・福祉系の連携が速やかになる。多目的ホール・図書館も利用する。

## 観光の灯を消すな

**問** 「コロナ禍の営業は限界」と悲痛な声がある。新予算に支援策がない。

**答** 村長 観光連盟・協会補助金3千30万円雇用維持に5百万円計上。

コロナ状況が不透明なので状況を見ながら補正予算で業者対策を講じる。

**問** 「チームラボ未来の遊園地」イベントの総括は。

**答** 村長 精査中だが、総事業費が4千9百27万2千円、収入が千3百万円、支出が4千8百55万円。

白馬村の感染警戒レベル5を受けて休館し、実質16日間の開催となった。計画期間開館したら1万人以上は見込めた。イベントをきつかけに小谷に足を運んでいただけると考える。収益計算でなく、持続的効果を目

的に実行した。

**問** コロナ感染の悪化は年末から予想されていた。事業中止の決断はなかつたのか。

**答** 村長 実行委員会で検討し感染予防対策を強化し事業を決めた。

**問** 近隣の感染拡大で住民の不安が増す中で開催だ。住民の命を守ることを最優先すべきだ。

**答** 村長 中止・延期の考えはなかつた。

**問** 地方創生「企業人材派遣制度」を取入れてきたが、村がイベント費用全額負担では制度の使い方が違う。村の資源・施設提供等で企業の経済活動支援はできる。官民協働事業の在り方を総括し、村民益第一の事業にすべきだ。

チームラボ(株)と村の関係は。

**答** 総務課長 「派遣制度」の企業人は、チームラボ(株)の職員ではなく、子会社の人材だ。

9

# チームラボ★学ぶ！未来の遊園地in小谷村開催について



深澤 英喜 議員

来ていただいた結果になった。招待券の内訳は。

**問** 招待券の内訳は。

**答** 特産室長 チームラボから、1枚出すと3人来ると言われたので、1500枚用意した。県教育委員会など、また、村内は、索道会社、ホテル、ポスターを貼って頂いた所。その他、銀座長野など。

**問** スキー+ワン。スキー場でのチームラボの経済効果は。

**答** 村長 宿泊事業者紹介は、5%でした。来場者数が少なかったことについては、私も「残念」でした。どれだけ波及したかは後で考えて、これから検証して参考にしていこう。

**問** 村から梅池協会会長に、延長したいと、問い合わせがあったが。

**答** 特産室長 地元の関係者から、「延長しないのか。」とあった。

様に温かい声かけやそっと手を差し伸べるなどの対応をしてくれたお蔭もあって、多くの来場されたお客様より感謝の言葉をいただいたことが、何より小谷村のイメージアップにつながったことがよかったです。

**問** 1000万円の補助金の内容は。

**答** 特産室長 県のスノーリゾート誘客促進事業に、実行委員会が申請して採択されたが、まだ、収入は入っていない、確定ではないが、一応、1000万円、見込みとして実行委員会申請でいただいている。

**問** 入場者売上が230万円。入場者数3921名の内訳は。

**答** 特産室長 2477名、有料の方。その他に招待券を出している。障害者・3才未満が無料、その方々が1444名。2対1ぐらいで招待した方々が

当日券の販売中止期間と再開後の営業日数を合わせて19日間であった。

**問** 総入場者数は、3921名の入場で、当初想定の名の1/5であり、予定していた入場売上については確保できなかったことは大変残念なことであるが、村が地域と一体となって開催するイベントとして様々なメディアに取り上げてもらうなど、職員も知恵を絞り小谷村の地域を発信できたことは、大きな財産として残すことができたと感じている。

**問** 結果から、室長のお考えは。

**答** 特産室長 少ない来客数でしたが、「楽しかったよ、おもしろかったよ」と来場者から温かいお言葉を頂いたことが、とてもありがたかったことです。チームラボのコンテンツは素晴らしいものですが、一緒になって会場内で接客してくれたスタッフがお客

補助金収入 1000万円  
合計 1230万円  
となる見込み。

**問** 結果から、村長のお考えは。

**答** 村長 イベントは、既に実行に向けた準備が出来上がっていたところであり、近隣からの誘客を求めていることでしたので、実行しない選択肢は取らなかった。しかし、長野県の医療緊急事態宣言および北アルプス圏域での感染者の拡大を受け、関係機関と協議をする中において、イベント会場への入場を制限するなどで対応していくことを確認はしたものの、特に隣村の感染者急拡大を受け、当初計画の日程は変更せざるをえなくなり、私の判断で、休館等の対応をした。最終的に

**問** 支出内容と、収入内容を。

**答** 村長 現時点での見込みとして、

人件費	468万円
リース料	2323万円
宣伝費	431万円
清掃費	19万円
事務費	52万円
感染対策費	40万円
会場設営費	1452万円
光熱水費	30万円
保険など	34万円
雑費	6万円
合計	4855万円
収入	
チケットの売上収入	230万円

# 新型コロナウイルス対策



吉澤 学 議員

体に1箱届く予定との事。

県に届く22箱の配分は県が決めるが詳細は示されていない。1箱は、今現在で975回分の計算。接種券は高齢者について4月中旬を目途に発送予定だ。

**問** ①スキー場経営が悪化するが、補助金・給付金などの具体策は。

**答** ②コロナワクチン接種について、今までに分かっている事は何か。

**答** 村長 ①コロナ禍によりスキー場の入込客数は減少しており、前年比で44・3%、少雪であつた前年比でも50・6%と大変厳しい入込状況だ。本年度少雪対策事業補助金3,000万円、緊急対策補助金3億円の予算を計上してスキー場事業者への支援を実施してきている。なお、3月は補正あり。  
②4月26日の週に各自治

## チームラボ未来遊園地

**問** ①実績は。②経済効果はあつたと認識できるか。

**答** 村長 ①前売り券81枚、招待券992枚、当日券1,628枚、その他

来場者を含め合計3,921名の来場実績であつた。イベント経費は、4,855万円、収入内容として1,230万円となる見込みである。

②入場者や経費を考慮しても明確に大きな効果があつたとは言えない結果と考へる。このコロナ禍の状況の中、約2週間という短期間で

の開催であつたイベントに対して、当地域へ足を運んで頂いたお客様には、心から感謝をさせていただくところである。

## 山菜加工場

**問** 進捗状況、今後の予定は。

**答** 村長 事業運営であるJAと協議の進捗

状況を説明する。現状の老朽化した施設では、これ以上の生産体制に限界があること。消費者ニーズに合わない保存料が含まれる製品の改良を行うことをテーマに取り組んできた。今後の予定として、工場内での工程を集荷、塩蔵までとしたい。塩蔵品を他社で加工、梱包を委託し商品にする。JAは商品を納品してもらい販売をする。村

としてもJAの提案を踏まえた上、何を協力するかを考へるところだ。

## 安心居住施設

**問** 工事の進捗状況、オープン予定日、

指定管理者の選考、営業形態、毎年村からの補助金が必要と思われるが、予定金額は。

**答** 村長 2月末時点の進捗状況は80%まで

きている。遅くとも5月末までに竣工させられるよう努力する。

全面オープンは7月初旬として準備を進めていく。住民を誰一人見捨てない。この村で生活する事を諦めさせない。転出せざるを得ない方を少しでも減らしたい。

指定管理者は、現段階で選考方法を検討中だ。営業形態については、利用者が安心して過ごせる、を提供する為、お風呂、食事、宿泊、様々な憩いの場を目指す。

見守り・相談業務・施設管理の人員費で年間3,000万円、光熱費・設備費・保守費等のコストは年間1,600万円程度を見込んでいる。収入は、利用料として年間1,100万円程

度を見込んでいるが、利用人数に左右されるため、変動するものと考えている。

## 母子・父子家庭への援助

**問** コロナ禍で特にひとり親世帯での家庭は非常に大変かと思う。これから入学等子供を守る為に補助金の支給が必要かと思うが、考えは。

**答** 村長 小・中学校の義務教育期間中は、要保護・準要保護就学援助制度があり、基準を下回る低所得世帯に対して、学用品・新入学用品・修学旅行費・学年会費・PTA会費・給食費等の援助をするもの。小中全ての世帯が生活保護世帯ではない準要保護世帯なので、援助費に対する国からの補助はなく、全額村費で対応している。

(6番目の「今後は今までと世の中が変わる」は紙面上削除)

# 複合拠点施設と

## 今後の課題は



宮澤 正廣 議員

**問** 村からの支援金は年間いくらか。

委託業者との契約金は、居住施設料金の設定は、

**答** 村長 村が負担していく費用は、年間

46,000千円程度を見込んでいます。内訳としては、利用状況によるが、ランニングコストで16,000千円程度。民間事業者へ運営をお願いする経費として、30,000千円程度を見込んでいますが、具体的な契約段階に至っていないため、あくまでも村の試算額として認識していただきたい。

拠点施設の利用料金については、周辺の公共施設の料金設定を参考に検討していく。今後、施設の設置条例で判定していかねばならない内容となるが、現段階では移住も出来る個室の利用料金は、一日あたり3、000円程度で設定したいと考えている。また、公衆浴場や多目的スペースについては、軽食をつけるなどの付加価値をつけた上で一回500円程度の設定をする方向で検討している。

**問** 多目的ホールの活用は。

**答** 村長 多目的ホールの活用方法については、「村民の方々の交流の場・憩いの場」として活用していきたいと考えている。

村の中には豊富な知識・技術を持つ方や郷土食・伝統文化など様々な地域資源がある。これらの地域資源を最大限活用できる取り組みを通じて、村民自身が活躍できる場にしていきたいと考えている。また、これらの活動は、村民同士の交流だけに留まらず、小谷村と何かしらの関係がある個人・団体・企業等の村外者との交流を深める仕組みを取り入れていくことで、村外で暮らしている方々が、村や地域、集落の取り組みを応援・協力していただける関係人口を増やす活動にも繋げていければと考えている。

**問** 今後の村としての対応と方針は。

**答** 村長 今後、村としての対応と方針については、小谷村は自然条件が厳しく、都会のように誰もが暮らしていける環境を整っていない。その反面、

四季折々の自然の恵みや行事などの地域資源が数多くあり、人とのつながりを重要視する村民の多くは、この地域の文化や暮らしに誇りを持っているのではないか。村としては、今暮らしている村民を大切に、少しでも小谷村で暮らし続けられる環境を整えることで、この地域の文化や誇りが失われないようにし、村外への人口流出を抑制したい。今後村としての対応と方針については、先にも記してあるが、この拠点施設に年額にして46,000千円を支援金（補助金）として数年間投入する。

村民一人ひとりの住み生活を支え、小谷の文化や誇りを守ることが行政としての役割で、複合拠点施設は、村民の暮らしを支える手段の一つであり、活気あふれる村づくりの手段である。様々な手段を

駆使して「小谷に生まれてよかった。小谷に住んでよかった。」と村民に言ってもらえる村にしていく。

**意見** 後世に「負の財産」を残すことは、将来、子どもたちの大きな負担になり、住み続けたい村ではなくなる。村で住んでいて良かったと思うような人たちが増えることを期待する。



開業を待つ拠点施設

# 新型コロナウイルスワクチン接種は



吉岡 久人 議員

**問** 2月5日の信濃毎日新聞に「ワクチン接種、戸惑う自治体」の見出しで県下77市町村アンケートが掲載されていたが約1ヶ月経過した。

(1)「診療所1つのため、地元医師会や白馬村の医療機関の協力が必須」とあったが、どうなったか。  
 (2)集団接種場所として村保健センターと記載されていて、「合同接種としない方向で検討中」とあったが、どうなったか。  
 (3)国・県からの指針で、接種順番は次のとおりだが、村内人数はどうか。  
 ① 医療従事者。  
 ② 65歳以上の高齢者。

③ 基礎疾患のある人。  
 ④ 高齢者が入所・居住する施設などで利用者に接する職員。  
 ⑤ 60歳～64歳の人。  
 ⑥ 16歳～60歳の人。

(4) 右記①～⑥の接種予定日は。

(5) 運転免許のない村民の会場への足の確保計画は。

**答**

村長 (1)と(2)大北5市町村の担当者会議、北部の白馬小谷両村と医師による打合せを行い、北部では集団接種を原則として行うことになり、当村は中井先生と調整し集団接種で行い、白馬小谷では合同接種は行わない。なお、接種会場はマイナス75℃のデュープフリーザーを設置する場所が保健センターだったのでアンケートにはそのように答えたが、現在は多目的ホールで調整中。

(3) 接種順は概ねご指摘の通りだが、村民の誰が何の基礎疾患を患っているのかをすべて把握している訳ではないので、②の高齢者の接種後は、一括して接種券を送り、予約の段階で基礎疾患があれば自己申告のもと優先的に早めの予約を取ることになるかと想定している。高齢者は住基データから割り出し、086名。

(4) 接種予定は、国が想定しているワクチンの配布が4月26日の週、とのことなので、連休明けからの接種開始が現実的だ。一日に接種できる人数により期間が変わってくるので接種予定日は一概に提示できないが、現時点では高齢者で8月までかかり、一般の方の接種終了は2月頃との想定だ。村民安心のため早期に進めていけるよう努める。

(5) 接種希望者に送迎希望があれば予定しなければならぬが、接種希望日、時間などもあり、現時点で詳細は答えられない。なお、大綱、北小谷観光交流施設Sウェルネスクラブ小谷の体育館、中土観光交流センターやまつばき などの接種も検討したいと思うが、ワクチンの搬送や衛生面の関係から、こちらもまだ調整中だ。

## 村民リフレッシュ事業

**問**

「緑と雪と温泉のふるさと小谷村」のキヤッチフレーズがあり、温泉は村内に多数ある。コロナ禍で村民も旅行に行けない中、せめてリフレッシュして家族単位で利用できるような入浴利用券の配布はどうか。各施設の料金はまちまちなので、500円券で家族人数分が妥当か。

**答**

村長 村内には温泉が多数あるので、村民の方が温泉を利用するこ



雨飾高原露天風呂

とにより心身ともリフレッシュすることは大変良いことだと思う。また、村内の方の利用により少しでも内需の拡大にもつながるものと考えている。日常のご利用いただくことが最善かと思うが、入浴券として配布するという提案については参考にさせていただく。

**要望**

全村民への事業であるので実現と、また、今定例会に「姫川温泉、湯源電力復旧要望書」が請願として上がっているが、一日でも早い温泉復旧に、お力添えをしていただきたい。

# 過疎債の活用と財政企画



藤原 賢司 議員

**問** 過疎債活用を前提とした、今後の対応についての考えは。

**答** 村長 ハード事業にインターネットシステム更新工事、ソフト事業として生活関連緊急整備事業など総額で2億9、880万円を過疎対策事業債の借入限度額として予算計上した。

**問** 現在の小谷村の実質公債費比率は11・4%であることに重点を置き、今後適正な起債管理に努めていく。

**答** 村長 観光振興課と特産推進室を一つにして、観光地域振興課を設置する財政見直し、村民を対象とした事業執行の考えは。

**問** 村長 観光や農林業振興と、移住定住促進、特産振興の施策を、より横断的に連携し進めるため、観光地域振興課を設置する。

人口減少に伴い交付税や地方税収入の減額が見込まれることから、地方債の発行を抑制し、基金からの繰り入れに頼った運営を見直していく必要がある、そのため経費削減などによりコンパクトな財政運営が求められることから、持続可能な財政運営の必要性を村民の皆さんに示していく。

## 環境基本計画

**問** 他の市町村が制定している「ポイ捨て禁止条例」のような抑止力となる有効な対策の検討は。

**答** 村長 村独自の条例は無いが、既存の法律等に基づいて、不法投棄禁止の啓発や監視活動を実施し、抑止に努めていく。

**問** 「小谷村観光地域づくり審議会」からの答申に、「里山を活かした観光」が提言されているが、これらの答申を受けて、自然環境保全のための条例などの検討はされたか。

**答** 村長 「観光」とは、旅をすることと考えている。また、通過するだけでも観光地であり、「道の駅」などは、その地を表す代表的なものであると思う。

**問** 村長 環境に関する条例の制定がなされている市町村も多いと認識している。

当村では環境に関する条例策定の議論が進んでいない状況であるが、世界的、地球的環境保全が叫ばれるなか、ポイ捨て禁止等の村内における環境施策は勿論のこと、地球環境の保全に向けた取り組みを進める環境行政の指針として、条例の制定に向けて研究していきたいと考えている。

## 小谷村に適した観光

**問** 村長の考える小谷村の観光に必要な基本的な観光論、東山観光の位置づけなど、魅力を引き出す具体策を伺いたい。

**答** 村長 「観光」とは、旅をすることと考えている。また、通過するだけでも観光地であり、「道の駅」などは、その地を表す代表的なものであると思う。

東山観光の位置づけとして、姫川の右岸から見る景色景観のすばらしさ、新たな古道として塩の道に加えたルートが魅力あるもので発信できると考えている。

**問** 現在コロナ禍にあつてインバウンド観光は低迷しているが、今後外国人観光客を取り込むアイデア、現在、将来を含めてインバウンド観光についての考えは。

**答** 村長 インバウンドは、ここ数年は厳しい状況が続くと思うが、いざ戻ってくる時に備えて、共通パンフレットやホームページの制作による海外プロモーションの強化と、わかりやすい案内標識、wifiの整備、安全安心な山岳観光を楽しんでいただく等の受け入れ環境整備の対応が急務であり、これらについては、HAKUBA BALLEYツーリズムとともに取り組んでいきたいと考えている。

**問** 過疎地域の自立、脱却の施策として、本年度予算に反映した過疎債は。

**答** 村長 過疎地域の持続的發展を図るため、①人の流れの創出及び担い手となる人材の育成・確保②観光業などの振興、雇用の場の創出③デジタル化など新技術を活用した各種対策の推進④子育て環境や福祉、医療による住民生活環境の確保⑤社会資本を充実し持続可能な地域社会の形成と経済成長の実現⑥地域運営組織の育成と集落維持・活性化⑦景観整備や地域文化の振興等地域社会の形成。など七項目を基本とした。

# 小谷村観光地域づくり・地域プラットフォームフォーラム・分科会について



猪股 充広 議員

## 問

観光地域づくり審議会  
の答申を受け、更に村として3つのテーマを

設け中長期的な観光振興を検討するとし地域プラットフォームの構築と3つの分科会を立ち上げ議論を深めながら観光地域づくりを進めるということだが、村長自身が思う観光小谷村の将来像についての考えを伺う。

①地域プラットフォームの目的として地域課題を住民自ら課題解決に向けネットワークや知恵を活かしながら地域の理想の将来像を話し合う場とあるが村長の思い描く具体的な将来像は。

②雪国分科会・里山SATOYAMA歴史分科会・

観光戦略分科会が立ち上がり始動していくが各分科会に期待し望むことは何か。

③現状・現在進行形で観光地・観光関係事業者の抱える問題は深刻だ、短期的中長期的に村として策を講じていかななくてはならないが具体的な施策を伺う。

## 答

村長 観光地域づくり審議会における外部委員会からの発表にもあったが、経済産業省の資料

2016経済センサス活動調査によると小谷村の売上高に見る経済産業構造は建設業38%宿泊業32%まさに宿泊など観光に携わる事業者が基幹産業として経済を支えている、5年を経過した現在もその構造に変わりはない。村として観光業に

## 村第6次総合計画策定の進捗状況

## 問

10年後の村の将来像を描くために、住民アンケートやパブリックコメント等を募集し振興計画

審議委員会のみなさんと検討し第5次総合計画の検証結果や課題を整理しながら素案を作成中と思うが進捗状況を伺う。

## 答

村長 第6次総合計画の策定にあたり小

谷村振興計画審議会条例による振興計画審議会を設置し庁内策定委員会と併せて協議している。また、住民からの意見を取り入れるための住民アンケートや第5次総合計画の検証も併せて実施している。

本計画はSDGs達成のための関連付けや気候変動事態宣言及び2050ゼロカーボンを念頭に「小谷村に住み続けられる構想の実現」に向け取り組んでいる。アンケート結果及び5回の

振興計画審議会を開催し素案を作成している。

素案を基に2/19～3/12までの3週間全村民を対象としたパブリックコメントを実施しており本日まで7名の意見をいただいております。振興計画審議会の素案に反映され3/29の第6回振興計画審議会を経て第6次総合計画とし3/31に村長へ答申される予定。

将来像のキャッチコピー

豊かな自然 力をあわせ  
元気にくらす小谷村

村の目標

『人口と地域コミュニティの維持』

基本目標

- ①活力ある持続可能な村づくり
- ②皆が住み続けたい安心安全な村づくり
- ③健康で生きいき暮らせる村づくり
- ④自然の恵みをチカラに変える村づくり
- ⑤未来へつなげる人と文化を育む村づくり

# お祭りを活用した村づくり



太田 武彦 議員

## 集落支援員を活用した地域づくり

### 問

① 導入目的は何か。

② 目的を達成するため、その要件、どんな活用体制が必要か。

③ 今後集落支援員を活用した地域振興をどう考えるか。また、配置地域の拡大を考えているか。

### 答

村長 地域の实情に詳しく、集落対策の推進に関してのノウハウ・知見を有する人材に委嘱し、地域巡回し状況を把握し地域づくりに寄与するのが、目的である。平成二十三年



打ち込まれた雑鎌（なまがま）

度より村では配置し、地域密着型支援、農家支援、特産品販売支援、観光商工事業者支援などを今まで行ってきた。

### 答

村長 消沈した雰囲気は否めない状況ではあるが、知恵を絞り着実に前に進もうと元気に頑張っている方々もいる。我々も、ポジティブに物事を考える気風を出さなければならぬと考えている。観光づくりプラットフォームを立ち上げたので、その中のみず今やることは何かという議論を展開し、出てきた案に細かく挑戦していくことが必要と考える。また、観光地域づくりプラットフォームの場に限らず、村民の意見募集、元気発表大会などという場をWEB上に設けることなどで、きつかけづくりとなるかもしれない。

### 提案

① 観光振興券を発行、村民に配布し村民挙げて観光振興に協力する。  
② 観光振興策への補助金制度を構築し明日の観光振興を図る。

### 問

① お祭りの実行困難な現状をどう考えるか。

② 里山をどのように考えているか。

③ お祭りへの行動が里山活用の最後の砦ではないか。

④ お祭りを観光資源として大いに活用すべきと思うがどうか。

⑤ 地域づくりに欠かせないお祭りに対して、村として支援できないか。

### 答

村長 各地域の衰退により、実行すること自体人手不足等により実行困難となっている現状は、お祭りが、住民の一体感を高揚し、衰退は地域の維持に

# わたしのひまわり

## 皆で創った未来遊園地

共働学舎 石川ひかり

チームラボ？聞いたことあるような、ないような。スタツフとして働かない？と誘われてすぐ調べ、面白そう！と思い仲間入りし、昼夜客の多い時は約20名のバイト数でした。

コロナ禍ということが大きく影響し、初めは大勢のお客さんを招待することができず、モヤモヤする日々が続きましたが、後半ではとてもたくさんのお客さんに来ていただくことができ、嬉しく思っています。

ここでのアトラクションは、歩けば音が鳴る、叩くと光る、好きな絵を描けばそれが泳ぐ。こちらがした行動に対して必ず反応してくれます。しかもどれも簡単で、子どもも大人もできること。「僕がボール叩いたら光った。」こんな単純なことにワクワクします。チー

ムラボは「共創」を謳っていましたが、この小さなワクワクの積み重ねが大きな創造に繋がっていくのだろうと思います。

私たちは入場者数が少ない時には、各セッション毎順番に閉鎖して、多い時は80分毎に全客を会場外へ誘導後、10分間換気と消毒を実施し、さらに安全管理を話し合いながら創っていたイベントでした。来て下さった皆様、そして温かく見守ってくれた特産室の方々、この機会に出会えたすべての皆さんに感謝です。



小谷園児も魚を描きました



未来の遊園地  
動画が見られます。見てね!!

## コロナ禍の学生生活

梅池 大学生（匿名）

昨年、コロナウイルス感染症が始まってから大きな影響が出て、東京での大学生活は登校できなくなり、完全にインターネットを使った授業になりました。飲食店のアルバイトも、一定期間は全くない状態で、ほとんど外出できなくなりました。

特に、就職活動への影響が大きく、困難な就職になり、一部の業界では完全に採用がなくなり、全体で見ても採用枠が少なくなっています。説明会や面接などはインターネットでの対応が中心となり以前の就職対策の仕方と大きく変わって

しまい、対応も困惑しています。

一回目の緊急事態宣言が終わった時は、学校に週2日ほどの登校授業が始まり、また、アルバイトは時間短縮の営業時間の中でしたが、少しずつすることができるようになりました。外出は増えたのですが、やはり元の生活は無理だなと、実感しました。

現在、withコロナの生活が当たり前になり、コロナ前には、まだ戻ることには不可能ですが、電車も満員になってきて、アルバイト先では店内満席になる時間も増えてきました。

私の思い過ごしかもしれませんが、皆さんコロナウイルス感染対策の意識が低くなったのか、もともとなかったのか、感染する可能性に時々怖くなりますので、私自身は自粛しています。

(文責 深澤英喜)



## 編集後記

「不易」と「流行」という相反する言葉を組み合わせた四字熟語を、正しい意味や使い方まで理解している人は少ないかもしれません。

「不易流行」は江戸中期の松尾芭蕉の「去来抄」にある俳諧の理念からきています。新しさや奇抜さを望み、常に変化を重ねていく風潮や趣向などの「流行性」こそが俳諧における「不易」の価値と考えられています。

意味は、「永遠に変わらないこと、ものを忘れずに新しい変化も同様に取り入れていくことこそが実際は永遠に変わらないことである。」「不易流行」を解釈すると、永遠に変わらないこと(不易)も変わり続けること(流行)もどちらも大切であります。小谷村もこの言葉のように、常に変化と希望のある村づくりを望みます。(宮澤正廣 記)